

ハネビロトンボ西播地方に 偶発

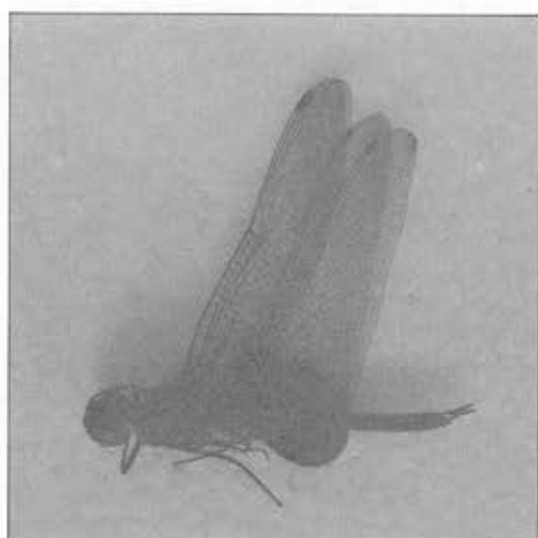
相坂耕作

ハネビロトンボ(トンボ科)は小笠原諸島、四国南部、九州南部および南西諸島の各島に分布するトンボでウスバキトンボを大きくした様な形態をし飛翔中は大変赤く美しく見える南方系のトンボである。

本州では三重県や愛知県でも定着を思わせる事実が観察されたり静岡、長野、千葉県などでも採集されている。

わが兵庫県下では三木市、高砂市で各一頭、神戸市で二頭、青野ヶ原で若干得られているに過ぎず分布上注目すべきトンボと思われる。

このたびの採集の状況は、水辺をパトロールしていたのを捕獲したもので、採集地付近にはハス池があり有機質の多い水質となっている。採集日前には台風もなくおそらく同池付近で発生したものと考えられる。本年も調査に行ったが残念ながら発見出来なかった。なお同池にはコフキトンボアオヤンマ、ナニワトンボなど分布上重要なトンボが発生している。



ハネビロトンボ ♂ 揖保郡御津町産
26-7-1975 Col 相坂耕作
(S.05 姫路市)

ハネビロエゾトンボが 再飛来

菅原昭夫

S48年度に自宅へハネビロエゾトンボが舞い込んできたことがあるが、再び本年8月21日に我が家へ舞い込んできた。

ハネビロエゾトンボはトンボ科の中でも稀種で再度の飛来に驚いている。分布としては日本のみで産地はかなり局限されており幼虫は主として丘陵地や低山地の湿地帯に生息している。またハネビロエゾトンボは普通種のクカネトンボとは早ではすぐ区別できるが♀では形態的にはほとんど区別できず尾端背面をみなければ同定しにくい。この早の飛来発見によりハネビロエゾトンボの発見やオオエゾトンボの生息もわかった模様である。詳しくは会誌「こむらさき」に相坂氏より発表される予定である。

採集データ ハネビロエゾトンボ ♀ (エゾトンボ科)
DATE: 21-8-1976
LOC: 御津町中島
COL: 菅原昭夫 (所蔵: 相坂耕作)
(S.17: 揖保郡御津町)

ルリボシカミキリを再発見

三木安貞

兵庫県の奥地、宍粟郡にはルリボシカミキリが生息していることは文献等でわかっていたが、この度、赤西国有林で再発見出来ましたので報告します。成虫はブナ帯にあらわれ多くの広葉樹の伐採木に集まる大変美しいカミキリムシです。赤西一帯の甲虫採集の際に身体に飛来したところを捕獲しました。

採集データ ルリボシカミキリ
(カミキリ亜科、ルリボシカミキリ属)
DATE: 25-7-1976
LOC: 赤西国有林(波賀町)
COL: 三木安貞
(S.12: 揖保郡御津町)